

県職員になってからの振り返りと今後の抱負

南筑後支部 南筑後県土整備事務所 久賀千聡

概要

県職員になってからこれまでの振り返りと、今後の抱負について。

私が県職員となり、早くも1年が経とうとしています。ただ目の前の仕事に取り組むことで精一杯だった私には、あっという間の1年でした。なんとなく過ごしていた学生時代から、大きく変化した生活に戸惑いや不安もありましたが、今では社会人生活にも慣れてきました。そこでこの1年間で振り返ってみたいと思います。

私が配属されたのは、南筑後県土整備事務所の道路課維持係です。仕事内容は、利用者の方々が安全で快適な交通ができるように道路を維持することです。具体的には、傷んだ路面や構造物の補修、排水溝や路面の清掃、街路樹の剪定や除草など多岐にわたります。そこで、県管理の道路がどの部分なのかが業務上、非常に重要なのですが、はじめは全然わかりませんでした。幸いにも実家から近かったので、なんとなく土地勘はあるかなと思っていましたが、そんな甘い考えはすぐに消えました。道路の路線名など知るはずもなく、気にしたこともありませんでした。そんな私の相棒は管内図でした。現場に連れて行ってもらう際は常に管内図を持っていき、外の景色や交差点名と見比べていました。今では、地名を聞いただけで大体の場所が分かるくらいには成長しました。普段から道路に興味を持つようにもなりました。

これまでを振り返るとたくさんのことを学びましたが、その中でも2つ紹介します。

1つ目は、「わからないことがあれば調べ、それでもわからなかったら悩まず聞く」ということです。普通のことかもしれませんが、この1年間を通して非常に大事なことで学びました。はじめはわからないことばかりで質問するしかなかったのですが、いくつか仕事を任せてもらえるようになると、後回しにしてしまい、時間がたってから結局わからずに質問するということがありました。質問すると係の方々は、作業中の手を止めて丁寧に教えてくださいます。悩んでいる時間が無駄なので、わからなければ聞くということは、新人の私にとっては特に大事なことだと思いました。

2つ目は、同期の大切さです。よく「同期は大切」という話を耳にしましたが、はじめは、なんとなく「大切なんだろうな」くらいにしか思っていませんでした。しかし、仕事や職場の話から何気ない話までたくさん話しているうちに、気を張ることもなく1番理解しあえて話しやすいのが、同期だなと思いました。今では同期の大切さを身に染みて感じています。

いろいろとこれまでを振り返りましたが、この1年間は、多くの人と出会い、様々な経験をし、初めてづくしの濃い1年間だったと思います。そんな中で私が、日々の業務を

「楽しく」行うことが出来たのは、係の皆様をはじめ、多くの方々のからのサポートがあったからです。今では、システムの使い方や、電話対応に苦戦していた頃がなつかしいくらい、仕事にも職場にも慣れました。しかし、慣れたからといって油断しないよう気を引き締めて頑張っていきたいです。

新採である今は、現場に行くにも何をするにも、上司や先輩にサポートして頂いていましたが、これからは1人でやるが増えていくと思います。そのため、今の内にたくさん学んでおこうと思います。また、今はわからないことが多く質問もしやすいですが、2年目3年目となっていくにつれて質問しづらくなると思います。しかし、そんな時こそ初心を思い出し、調べてもわからないことは1人で悩まず、早めに相談しようと思います。今は目の前の仕事に精一杯ですが、今後は周りのことにも気を配り、自分なりの考えを持てるようにもしたいと思います。

最後に、この1年間を頑張ってくられたのは毎月21日の楽しみがあったこと、そしてなにより、いつも優しく、面白く、たくさんのことを教えてくださった上司や先輩のおかげです。ありがとうございます。そして、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のもと、業務に励んでいきたいと思っています。よろしく申し上げます。